

夏越しは 日当たりと 風通し

今回から「アルバ・タイムス」として情報をお知らせします。

去年は夏越しに苦労したコースが多かったのですが、その原因のひとつには風通し、日当たり不足があります。

1. 日当たり不足は徒長する

芝は夜暗くなると葉が伸びます。午前中は伸びにくいのですが、午後は少しずつ伸びてきます。

しかし、曇りの日や、日当たりが悪い場所は、日中でも伸びるため、徒長状態となり高温に弱い芝となります。

2. 風通しが悪いと徒長する

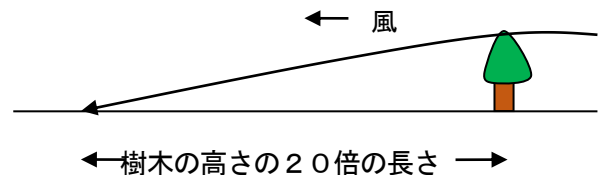
風によって葉への刺激があると、エチレンというホルモンが多くなり、がちりと生長します。

しかし風がなくなると「ひよろひよろ」と伸び、軟弱徒長となります。

3. ゴルフ場は風通しが悪い

樹木に囲まれているコースは多いと思いますが、風下側は樹木の高さの20倍の距離で風の通りが悪くなります。

また風は葉からの蒸散を活発にし、風速2m/秒の風で（少し木の葉が揺れる）葉の温度は4℃程度低下します。



4. 風通しが悪いとカルシウムの吸収が悪くなる

夏にカルシウムを施肥しているコースは多いと思います。ただ土壌中のカルシウムは葉からの水分蒸散に引っ張られて吸収します。つまり、風がないと蒸散が少なく、カルシウムの吸収も悪くなります。

風通しが良い場合は土壌散布・・・TGアンカーズサムを20～30g/m²

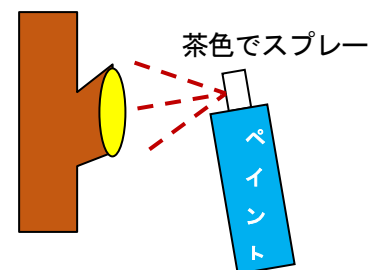
風通しが悪い場合は葉面散布・・・VITASPEED Ca808を100倍液で散布

5. 夏越しは まず枝を間引いてみよう

風通しを良くするためには枝の間引きや伐採が必要ですが切っても目立たない方法で行うと良いでしょう。

切り口に茶色のスプレーをすると切った後が目立ちません。

私も実際スプレーを行って見ましたが、少し離れるとどの枝を切ったのか、分からない状態になります。



芝草漫遊記

12月には千葉と茨城県のコースを訪問しました。これらの県はサツマイモの産地で、さっそく干しイモを買って帰りました。最近のイモは糖度が高く、スイーツと言っているほどです。サツマイモは茎を植えて栽培するので、芝でいうとティフトンのようなものです。しかし、高温好むサツマイモでも高温障害で収量が減少します。まして今の日本でベントグラスを管理するのは「適地適作」に反しています。

今回訪問したコースはほぼフラットなコースですが、樹木は大きくなっており対策が必要と思いました。

ただ、私が住んでいる関西地区は、山の谷にコースを作っているゴルフ場も多く山を削ることはできません。樹木の伐採はできる可能性があり、冬の間ベントグラスの「適地」を作っておく必要があります。